

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人サン・ビジョン)
 事業所名 (指定介護老人福祉施設第2グレイスフル春日井)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストベッド リショーン Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年9月28日	2台	H29年 9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
○対象利用者：要介護4～5。 利用者・職員のベッド⇄車いす間の移乗介助時の身体的・精神的負担が大きく、 介助に必要な長い時間や介助職員2名～3名が必要となる利用者。 利用者数：2名(H30.4～H31.3)2台を2名で継続利用。			
【介護ロボットの導入効果】			
○職員腰部負担アンケート結果			
導入後アンケート：H31.3月実施 回答人数 9名			
① 身体的負担(特に腰)は、リショーン Plus を導入したことにより、軽減しましたか(または軽減したと思いますか)。			
A 軽減した < 5名 56% >		B やや改善した < 4名 44% >	
C あまり軽減されなかった < 0名 0% >		D 全く軽減されなかった < 0名 0% >	
② リショーン Plus 使用研修を受講したことにより、作業面での改善はありましたか。(または改善があったと思いますか)			
A 改善した < 2名 22% >		B やや改善した < 7名 78% >	
C あまり改善されなかった < 0名 0% >		D 全く改善されなかった < 0名 0% >	
③ リショーン Plus の導入後・使用研修受講後も、介護業務が原因の身体的負担(特に腰)は発生していませんか。			
A はい < 9名 100% >		B いいえ < 0名 0% >	
○利用者・ご家族より移乗時の過度な負担についての訴えやつぶやきは無い。			
○ベッドと車椅子間移乗介助時のヒヤリ・ハット事故件数は、0件。			
○介助職員数は1人介助にて対応。状況によっては安全面を考え2人介助での対応。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人サン・ビジョン)
 事業所名 (介護老人保健施設フラワーコート江南)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストベッド リシヨーン Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年8月29日	2台	H29年8月29日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

○対象利用者：要介護4～5。

利用者・職員のベッド⇄車いす間の移乗介助時の身体的・精神的負担が大きく、
 介助に必要な長い時間や介助職員2名～3名が必要となる利用者。

利用者数：2名(H30.4～H31.3)。2台を2名で継続利用。

【介護ロボットの導入効果】

○職員腰部負担アンケート結果

導入後アンケート：H31.3月実施 回答人数25名

- ① 身体的負担(特に腰)は、リシヨーン Plus を導入したことにより、軽減しましたか(または軽減したと思いますか)。
- | | | | |
|---------------|-------------|--------------|-------------|
| A 軽減した | < 10名 40% > | B やや改善した | < 11名 44% > |
| C あまり軽減されなかった | < 3名 12% > | D 全く軽減されなかった | < 1名 4% > |
- ② リシヨーン Plus 使用研修を受講したことにより、作業面での改善はありましたか。(または改善があったと思いますか)
- | | | | |
|---------------|-------------|--------------|-------------|
| A 改善した | < 10名 40% > | B やや改善した | < 11名 44% > |
| C あまり改善されなかった | < 2名 8% > | D 全く改善されなかった | < 1名 4% > |
| 未回答 | < 1名 4% > | | |
- ③ リシヨーン Plus の導入後・使用研修受講後も、介護業務が原因の身体的負担(特に腰)は発生していませんか。
- | | | | |
|------|-------------|-------|------------|
| A はい | < 20名 80% > | B いいえ | < 5名 20% > |
|------|-------------|-------|------------|

○利用者・ご家族より移乗時の過度な負担についての訴えやつぶやきは無い。

○ベッドと車椅子間移乗介助時のヒヤリ・ハット事故件数は、0件。

○介助職員数は1人介助にて対応。状況によっては安全面を考え2人介助での対応。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。